





宝福寺三重塔



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほうふくじさんじゅうのとう
所在地	総社市井尻野
指定年月日	昭和2年4月25日
解説	<p>修理に際して見つかった墨書銘から、永和2年(1376)再建と分かる。方三間、本瓦葺き。総高約18m。柱はすべて円柱、中心柱は初層の天井までにとどめている。軒の出が深く、各層の遞減割合もよく、南北朝時代の三重塔の風格を有している。岡山県内の三重塔としては2番目に古い。宝福寺はもと天台宗であったが、鎌倉中期に臨済宗に改宗した。画聖雪舟[せつしゅう]が修行した寺として有名。塔以外に山門、仏殿、庫裏、本堂、客殿など壮大な建物があり、県史跡に指定されている。</p>
アクセス方法	JR総社駅から車で約10分 / 岡山自動車道岡山総社ICから車で約20分
公開状況	外観のみ
設備	<p>  駐車場  障害者用駐車場  トイレ  障害者用トイレ </p>
備考	